

# 中村小図書館だより

令和7年9月号  
多古町学校司書



夏休みが終わり、学校にみなさんの元気な声が戻ってきました。季節はこれから少しずつ涼しくなっていく活動しやすくなりますが、まだまだ暑い日があります。そんな時は、ぜひ、図書室でゆっくり過ごしてみませんか？お気に入りの一冊が見つかるかも！



## 9月のおすすめの本

### 《読んでみよう虫が出てくる本》

夕暮れになると虫たちの  
大合唱が始まります。  
リーン♪ リーン♪



『はらぺこあおむし』 エリック・カール（さく） もりひさし（やく） 偕成社

日曜日の朝にうまれたちっぽけなあおむし。お腹がぺこぺこなあおむしは、りんご、なし、すもも……毎日たくさん食べたのでふとっちょに。ふとっちょになったあおむしは、この後どうなるのでしょうか。

『こん虫のかくれんぼ』 岡島秀治（監修） 偕成社

こん虫はかくれんぼが得意。こん虫が草むらや木の枝でじっとしていると、どこにいるのかわからないときがあります。それは、自分の体を他の物の色や形ににせているから。なぜなのでしょう。

『あかいありとくろいあり』 かこさとし（絵と文） 偕成社

大きなキャラメルを見つけたあかありのぺっちゃん。そこにくろありぐんだんが現れ、捕まえられてしまいます。でも大丈夫！仲間のあかありたちがみんなでぺっちゃんを探し、助けてくれます。

『いつもトンボとにらめっこ』 谷本雄治（著） 岩崎書店

トンボ研究者の新井裕さんが赤トンボのなぞ解きに挑戦する姿を通して、トンボの魅力を紹介しています。身近な自然の重要性や、生き物に接することの大切さなどを訴えている本です。



## クイズ

「七夕」や「梅雨」といった特別な読み方をする言葉が日本語にはあります。

さて、右の漢字はどんな読み方をするのでしょうか？ 「案山子」



ヒント：たんぼや畑の作物を守る人形

答えは『読売KōDōMo新聞』2025年7月31日号を読むとわかるよ！

## 6月のクイズの答え

ぼうはん  
防犯ブザー

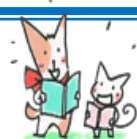


『読売KōDōMo新聞』2025年5月15日号を読んでみてね。

## ◆ 本でコミュニケーション ◆

☆おすすめの本☆ （図書委員 白鳥陽南太さんのおすすめ）

『ゆうれい猫ふくこさん』 廣嶋玲子（作） バラマツヒトミ（絵） 岩崎書店



「ふくこさん」は、団子町でみんなに愛されていたのら猫。その「ふくこさん」が交通事故に遭い死んでしまう。その後、幽霊となり団子町に住む人々の手助けをしていくという物語。ぜひ読んでみてください。（廣嶋玲子さんは『銭天堂』の作者です。）